

5日間の講習とレポートで資格を取得

社会人のための履修証明プログラム

デジタル・アーキビスト資格取得講座

令和2年度生 募集

講座
の
特色

◆ 学修内容

文部科学省の現代GPによる支援を受け岐阜女子大学が開発したデジタルアーカイブの理論や人材教育の研究成果を講義に反映

※現代GP (Good Practice) = 現代的教育ニーズ取組支援プログラム

◆ 「文化（対象）の理解」「デジタル化の利用」「法と倫理」等を指導

◆ 実践力の強化

岐阜市長良川界隈・織田信長公居館跡等での撮影実習

日 時

6月5日（金）10:00～17:00

6月6日（土）9:30～16:30

2020年 6月7日（日）9:30～16:30

6月20日（土）10:00～17:00

6月21日（日）9:30～16:30

場 所

岐阜女子大学

デジタルアーカイブ研究所

〒500-8813 岐阜市明徳町10 杉山ビル

※その他実習で岐阜市内を移動します。

前半・後半（計5日間）の講義・実習を履修し、課題レポートを提出して合格することにより履修証明書が発行されます。その後、デジタル・アーキビスト資格認定機構へ履修証明書を提出、認定料を納付することにより資格が取得できます。

*各科目の課題レポートを提出（6月上旬頃～7月上旬頃にかけて完成させていただきます）

*お手元にデジタル・アーキビスト認定証が届くのは8月～9月頃になります。 *レポートの内容によっては再提出を求める場合があります。

科目概要
6 +
科目
(レポート)
講義・実習
(5日間)

- (1) デジタルアーカイブ概論
『新版デジタルアーキビスト入門』を基準に、デジタル・アーキビストとしての必要な事項を学修
- (2) 撮影実習・データベース操作
現地等での撮影・記録収集の計画と方法を学修
デジタルアーカイブで必要とする各種資料等の撮影・記録を学修
- (3) 文化（対象）の理解
デジタルアーカイブの対象や、防災、地方創生、企業等でのデジタルアーカイブの活用について学修
- (4) デジタル化と利用
メタデータ、用語のシーラス、データの公開や共有に関する枠組みについて学修
データベースの活用について学修
- (5) 法と倫理（権利処理）
著作権、肖像権、プライバシー、個人情報保護および許諾の取得方法を学修
- (6) まとめ
開発計画の作成とデジタルアーカイブの実際（事例）を学修

受講対象者

いずれかに該当する方 ①準デジタル・アーキビスト資格を取得している ②デジタルアーカイブに
関係する業務経験がある ③デジタルアーカイブ関係分野を専攻している

85,000円（税込）（準デジタル・アーキビスト有資格者は80,000円（税込））

※次の金額は含まれません。*デジタル・アーキビスト資格認定料（1万円）*宿泊費（宿泊予約は各自）

※納入先は後日郵送でお知らせします。請求書や領収書の発行が必要な方は岐阜女子大学へご連絡ください。

20名（定員になり次第締切）

2020年5月18日（月）まで

講座当日までに各自書店等で下記書籍をご購入ください。

『新版デジタルアーキビスト入門—デジタルアーカイブの基礎』 ISBN978-4-88367-323-0

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所編 出版社：樹村房 2019年4月発行 本体1,000円+税 B5判 76頁

別紙申込用紙に必要事項を記入し、E-mailまたは郵送にて**岐阜女子大学（左下記載）**
までお送りください。

※受付の確認に数日要しますので余裕をもってお申込みください。※申込書を受け付けましたら受講票等をご自宅住所へ送付します。
※講座に関するご質問は業務委託を受ける特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構（右下記載）へお願いします。
※お問合せはできる限りメールをご使用ください。



申込書の送付先はこちら

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所

〒500-8813 岐阜市明徳町10 杉山ビル4F

岐阜女子大学文化情報研究センター 林

TEL 058-267-5237

E-mail openc@gijodai.ac.jp

URL <https://gijodai.jp//openc/>



講座に関するご質問はこちら

特定非営利活動法人

日本デジタル・アーキビスト資格認定機構

〒500-8813 岐阜市明徳町10 杉山ビル4F

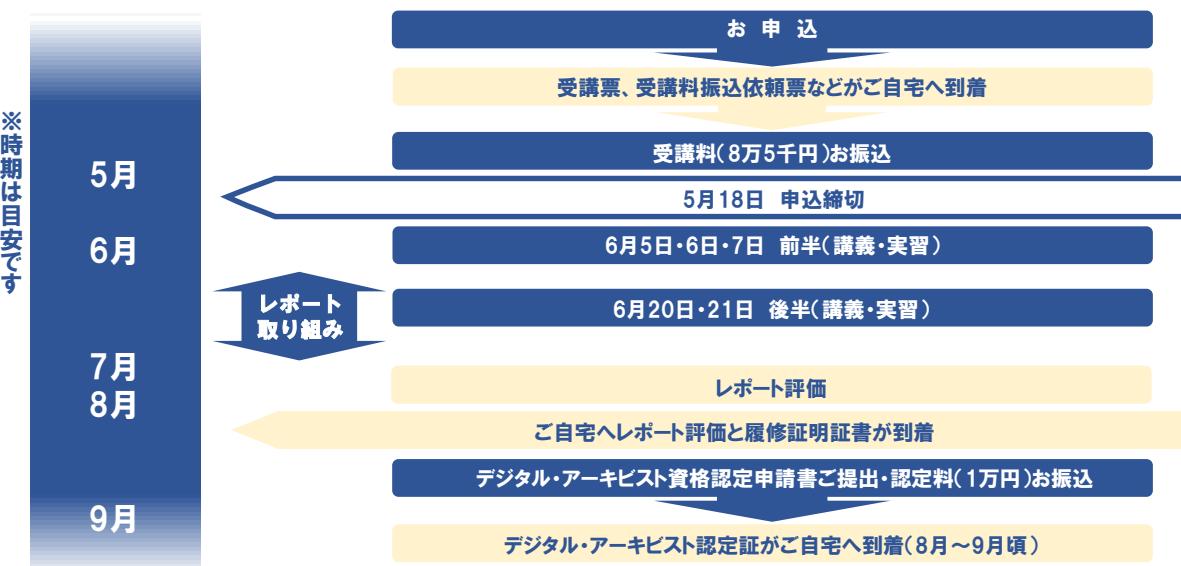
TEL 058-267-5301

E-mail info@npo-jcbda.jp

URL <https://jdaa.jp/>

履修証明プログラム デジタル・アーキビスト資格取得講座

► デジタル・アーキビスト資格認定証発行までの流れ



► 他講座との違い

	デジタル・アーキビスト資格取得講座 —履修証明プログラム—	デジタル・アーキビスト 短期資格取得講座
取得できる資格	デジタル・アーキビスト	
主催	岐阜女子大学	講習会による
講座の開催頻度	年に1回	年に複数回
認定証発行時期	8～9月頃	講座終了から約1か月後
講座・実習の日数	5日間	
認定試験	なし	あり
課題レポート	あり (6科目分)	なし

デジタル・アーキビスト資格取得講座—履修証明プログラム—は、

大学等において主に社会人を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書（Certificate）を交付できる制度（学校教育法105条等）に基づいて岐阜女子大学が実施します。

通常のデジタル・アーキビスト短期資格取得講座は、最終日の試験に合格することでデジタル・アーキビスト資格を取得できますが、当講座では試験を実施せず、レポートを課しています。（課題内容は講座受講時にお知らせ）

【過去のレポート課題の一例】

- ・デジタルアーカイブ開発計画書を作成してください。
- ・デジタルアーカイブの社会における活用について記してください。など

レポートの内容によっては再提出を求める場合があります。

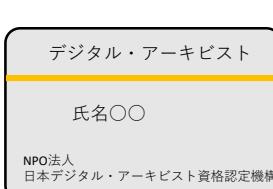


履修証明書と認定証とは？

岐阜女子大学が定めた学習プログラムを修了したことを証明するものです。
全レポート提出後、岐阜女子大学より発行されます。



デジタル・アーキビストの有資格者であることを証明するものです。
履修証明書を受け取った後、日本デジタル・アーキビスト資格認定機構へ申請することで発行されます。



履修証明書を取得することでデジタル・アーキビスト資格を取得する権利が得られます。